

【区企画事業に対するご意見等】

提案部会	整理番号	区役所企画事業に対するご意見	担当課	担当課の考え方
第1部会	1	<p><b>【事業全体についてのご意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の取り組み、有効性、成果をもっとアピールする必要がある。</li> <li>手法としては、西区民への広い周知から西区だよりが有効と思われる。</li> </ul>	各所属	<p>区づくり事業の実績や成果については「区長と語る会」での説明などにより、区民への周知を行っています。ご意見を踏まえ今後も機会を捉えてえて広報、周知に務めていきます。</p>
	2	<p><b>【西区安心安全な地域づくり推進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の安全確保と環境美化を合わせて取り組んでみてはどうか。</li> <li>避難訓練は、低い土地である西区の特性を考慮し、水害を想定したものや、地域ごとの実態に合わせた方法での実施を検討してはどうか。</li> </ul>	総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つの施策で複数の効果が出るような多面的な視点(地域課題の同時解決)が、今後より一層必要となってきます。環境美化については自治協提案事業として取り組んでいただいております。区としても、取り組み主体となる地域の皆様と一緒に、より効果的な施策となるよう議論していきたいと考えます。</li> <li>防災訓練は各自主防災組織が自らの地域特性を踏まえて企画、実施されているものと考えています。区としても、補助金の支出や区職員による訓練指導など、できる限り支援に努めていきます。</li> </ul>
	3	<p><b>【きれいなまちづくりサポート】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西区一斉クリーンデーは区民がごみ拾いを行いまちがきれいになるよい取り組みである。しかし、一方で年に1回の実施ではきれいにしきれない地域もあるので、春と秋など複数回の実施を検討してはどうか。</li> <li>西区一斉クリーンデーを任意の参加を呼びかけるものから、参加を強制する仕組みに切り替えてはどうか。</li> <li>河川など、地域のごみ拾いを継続的に行うことに繋がる仕組み作りを行ってはどうか。</li> </ul>	区民生活課	<p>西区一斉クリーンデーは、区の一体感を醸成するとともに、環境意識の向上を図ることを目的に自治協議会の提案によりスタートしたものです。多くの区民に参加を呼び掛けるため、旗印となる基準日を設け実施しており、年々参加者が増加し、近年は7,000人を超えるなど地域に定着したものとなっています。また、この事業は地域清掃活動に取り組むきっかけづくりとなり、年に複数回ボランティア清掃を実施する自治会等も多く見られるようになりました。今後も年1回この一斉クリーンデーを継続することで、さらに多くの区民のみなさんから清掃活動に参加いただけるよう取り組んでいきます。</p> <p>現在、西区自治協議会第一部会で、ぼい捨てをする人の行動の変容に繋がるような取り組みについて、ごみ拾いアプリ「ピリカ」の活用を含めて検討いただいていることから、この取り組みが継続的なごみ拾いの実施に繋がるよう支援していきます。</p>
	4	<p><b>【他部会の事業に関する意見】 西区を堪能 まち歩き、観光ツアー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地それぞれにまち歩きマップやボランティアガイドが作成されているが、西区全体を網羅した観光マップの作成を望む。そのための研究会を立ち上げてはどうか。</li> <li>また、地域課発行の現行の「西区、ひと目でわかる西区ガイドマップ」の内容を更新する必要があるのではないか。</li> </ul>	農政商工課	<p>現在西区のまち歩きマップにはボランティアガイド団体が作成したもののほか、地域団体等と区が協働でH30年に作成した赤塚のガイドブックがあります。また今年度は地元ボランティアガイド団体からの要望もあり大野町のマップを地域の方々のご意見も取り入れながら作成する予定です。</p> <p>ご意見の「西区、ひと目でわかる西区ガイドマップ」も含め、西区の魅力を知っていただくためのツールとしてどのようなものが良いのか、今後もガイド団体等と意見交換しながら検討していきます。</p>

第2部会	5	<b>【事業全体】</b> ・少ない財源の中で、費用対効果がより厳しく、市民から求められると感じている【事業ありき】ではなく、より市民の現状に寄り添って、さらに効果のある内容を考えていくことが求められるのではないかな。	各所属	区づくり事業は西区の現状を踏まえ、企画・実施していくものから、自治協に対し企画段階から公表しご意見をいただきながら、効果的に事業実施しています。今後とも積極的なご意見をお願いします。
	6	<b>【西区健活チャレンジ】</b> ・地域健康応援隊育成講座終了者の活躍の場として、地域の茶の間へのPRを行ってはどうか。	健康福祉課	当講座の対象者が、食生活改善推進委員及び運動普及推進委員であり、地域の茶の間が活動の場の一つとなっています。講座終了者が普段の活動の中、健康寿命延伸を踏まえた健康情報の発信をすることにより、効果的な活動につながると考えます。
	7	<b>【西区の子育て応援】</b> ・NPプログラム(完璧な親なんていない! ~Nobody's Perfect~)の参加者募集の方法について、現在は自由募集(年齢制限等なし)となっているが、問題を抱えている親が参加できるような募集方法を考えてはどうか。 ・今までは行えなかったが、感染症対策をしながら子育て支援者交流会を実施してほしい。	健康福祉課	NPプログラムは、おおむね1歳～3歳のお子さんを子育て中の保護者を対象に、受講者募集しています。公募形式ではありますが、子育てに不安や悩み等を抱えており、地区担当保健師や相談員との継続した相談支援関係がある保護者には、直接ご案内し優先して講座を受講できるように配慮しています。今年度は、お子さんの発達に遅れがあり、親子で療育教室に通っている保護者に、担当者から直接ご案内する取組みも行いました。こうした取組みを今後も継続していきたいと考えています。 子育て支援者交流会は、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえて開催時期を検討しており、現状では年度末までに開催できればと考えています。
	8	<b>【西区NEWスタイルウォーキング】</b> ・フォーカス・グループインタビューを取り入れ、地域課題と併せてウォーキングに取り組むことで、相乗的な効果が期待できるのではないかな。	健康福祉課	DVDを活用した情報発信や、距離標を設置した遊歩道をどのように活用するか、これからウォーキングを始めようと考えている方へどのように情報を伝えていくのかな等、地域の課題を明らかにしながら検討を進めることで、より効果的になると考えます。今後の課題とさせていただきたいと思います。
	9	<b>【出勤! 西区地域盛り上げ隊(中学生みらいデザイン編)】</b> ・ワークショップを開催する学校との事前準備において、もう少し時間を設けてもらえるとより充実した内容となるのではないかな。	地域課	令和4年度の事業実施の際には、事前準備期間を十分に設けたうえで開催できるよう改善します。

第3部会	10	<b>【西区特産農産物 魅力発信・ブランディング】</b> ・ゆうやけこぼり、佐潟、きらら公園などの各種公園など、様々顧客層の異なる場所で販売を企画してほしい。	農政商工課	農政商工課では地域の産業振興や特産農産物のPRを目的に、これまで、ゆうやけこぼりときらら西公園でパンや農産物販売の社会実験を実施しましたが、冷房設備が無いなど施設面等に課題があることが明らかとなり、現状での実施は困難な状況です。今後も西区の特産農産物の魅力を発信していくため、様々な企画に取り組んでいきます。
	11	<b>【「食×農」体験プログラム実施】</b> ・参加を希望しても定員に達してしまい参加できなくなる場合も想定されるので、参加希望者がみんな参加できる仕組みづくり行えないか。 ・子供に関心をもってもらうため、スーパーや直売所などを活用してはどうか。 ・人気があると思うので、例えば試みにコンベンション協会でツアーを組んでみて最終的には民間各社で様々な取り組みを行うなど(運営:民間、後援:西区)の方が、より経済効果及び魅力度の高いツアーになるのではないかとと思う。	農政商工課	今年度の親子を対象にした農業体験や収穫ランドも定員を超える参加希望をいただき、当初予定よりも定員を増やして実施したのもありました。コロナ禍で、ツアーも含め体験イベントの実施が難しい時期ではありますが、少しでも多くの方にご参加いただき楽しんでいただけるよう工夫していきます。
	12	<b>【西区「農地と保安林」機能維持・向上】</b> ・子供へ保安林機能の教育を行う必要性があるのではないか。 ・保安林整備を事業化できないか。 ・ボランティアの高齢化、人口減少の中で現状の方法での持続的な整備は難しいと思うので、(運営:民間、後援:行政)という分担にて、整備からキャンプ場やアウトドア体験場所への有効活用への転換をご検討頂きたい。	農政商工課	西区の保安林は飛砂防備林として新潟県の指定を受けており、その多くは個人の所有地となっていることから、キャンプ場やアウトドア体験などでの利用や整備の事業化は難しいと考えます。令和元年度から市民の方を対象にした保安林ウォーキングを実施し、保安林の機能説明やボランティア団体活動の紹介等啓発に努めています。西区では、ボランティア団体が13団体活動しており、小学校と連携して整備活動を行っている団体もありますので、このような取り組みの拡充・拡大を引き続き支援していきます。
	13	<b>【西区を堪能 まち歩き・観光ツアー】</b> ・子供へも周知など、広い世代を巻き込んだ事業展開が必要なのではないか。	農政商工課	R元年度に開催した親子を対象にした収穫体験ツアーでは参加した子どもたちから「知らなかったことが知れて楽しかった。」「いろいろな体験、特に収穫が楽しかった。」などの感想をいただきました。また保護者からは「現地集合、解散の収穫体験イベントもいいと思う。」「枝豆収穫ツアーをしてほしい。」などのご意見があり、今年度は親子を対象にした現地集合・解散の「親子で育てるくろさき茶豆農業体験」を開催したほか、親子向けの収穫ランドも実施しました。今後は幅広い世代への発信方法や対象者を意識したガイド養成講座の開催など、参加者や関係者のご意見も参考にしながら検討・実施していきます。
	14	<b>【西区のくらし・魅力発信】</b> ・大学生だけでなく、小学生、中学生から行ってほしい。	地域課	本事業は若者の進学及び就職を機とした県外転出を抑制する施策として行われている背景から、事業効果の主な対象を大学生として設定しております。まずは本市の人口減少の一因とされる若者の県外転出に有効となるような取り組みを行い、将来的により若い世代に対し「西区のくらし・魅力発信」事業を行ってまいります。なお、中学生については、特色ある区づくり事業の中の「出勤！西区地域盛り上げ隊(中学生みらいデザイン編)」において、地域の方とのワークショップを行い、地域課題を共有しながら、地域に愛着をもってもらえるよう取り組んでいます。
15	<b>【他部会の事業に関する意見】 西区NEWスタイルウォーキング</b> ・遊歩道だけでなく、西区内の魅力ある場所を織り交ぜてはどうか。	健康福祉課	ウォーキングの楽しみを高めるとともに、西区の魅力を広めるご意見と考えます。これまでも各地区の魅力を織り交ぜたウォーキングコースを作成しておりますので、そちらも合わせてPRすることを検討していきます。	